

## 園内研修実施ガイド（ファシリテーター用）【令和3年度作成・試案】

### 言語文化的に多様な背景を持つ子どもたちが共に過ごせる保育を

#### はじめに さあやってみましょう！

研修全体の目的、基本的な考え方と、研修を実施する上でのポイントが書かれています。参加者と一緒に確認して始めてください。ファシリテーションのポイントを一緒に読んでみるとよいかもしれません。

#### 1. なぜ多文化保育が必要なのか

パワーポイントとテキストの解説とを合わせて、日本の現状とこの研修内容が用意されている理由を説明しています。協議では、参加者のいる地域の状況について共通理解ができるとよいと思います。参加者の中に外国につながる方もいらっしゃる可能性を含めて、付加的な質問を考えていきましょう。

#### 2. 外国人幼児等を受け入れるとは

パワーポイントから、外国人幼児等を受け入れるということは、保育においてどのような意味をもつのか、「当たり前」を捉え直す、幼児教育の基本を見直す、新しい保育実践を創造するの3つの視点から考えます。外国人幼児等を受け入れることは、単に外国人幼児等への援助・指導方法を学ぶことではなく、自らそして自園の保育実践を見直し、新しい実践を園の教職員全員で創造する営みであることを伝えていきましょう。

#### 3. 言葉を獲得するとは

パワーポイントから、文化的な背景が多様な外国人幼児等を受け入れるにあたって押さえておきたい「言葉の発達」について、言葉の獲得の基盤、言葉は子どもの世界を広げる、言葉は「わたし」をつくる、言葉は文化の4点から見ていきます。そもそも「言葉」とは何なのか、言葉の意義を捉え直し、言葉の獲得とは単に語彙を増やすことだけではないことを、改めて考えていきましょう。

#### 4. 多文化環境で育つ子どもたち—園と家庭・地域で言葉を育むために—

ここでは、次の概念について確認し、多文化環境、複数の言語環境を行き来して育つ幼児に対して、保育者が知っているべき概念や目指すべき専門性について学びます。「二言語共有説」「ダブル・リミテッドの状態」「母語」「継承語」「複数の言語の学び手」「生活言語」「学習言語」「前偏見」などです。協議では、複数の言語の学び手である子どもたちの言語、アイデンティティを大切にするために、園でできることと、地域にゆだねることなどを考えていきましょう。

#### 基礎理論研修のその先に

それぞれの保育者の自分の今後の研修計画を考える機会、また園全体の研修に見通しを考える機会にしてください。

参加者： \_\_\_\_\_ (人数： \_\_\_\_\_ 人)

日時： ○月○日 (○) ○：○～○：○

◎園内研修の時間や、園で優先して取り上げたい事柄等、各園の実情に合わせて、進め方を工夫してください。

◎パワーポイントのスライドの1から4までのセクションごとなど、考えたいところで映像を止めて記録用紙に記入してもらいます。

そして、①話し合いの時間をもってから次に進める、または、②全部の映像を見てから協議をする、どちらの方法を選んでいただいても結構です。

◎参加者の発言内容に即して、気付きを引き出すように問いかけてください。その際、パワーポイントで学んだことと関連付けるような言葉を使うと、参加者の気付きが深まり、保育に反映しやすくなると思います。下のA欄に問いかけの例を記述します。あくまでも参考例としてご活用ください。

◎参加者の経験年数や担当クラス、園内での役割などを考慮して、話し合いのためのグループの構成を考えてください。また、途中でグループを組み替えるとさらに違う意見の人と出会うことができ、話し合いが活性化することもありますので、園の状況に合わせて工夫してください。

A ファシリテーションのためのヒント (問いかけの例)	B 話し合った内容の概要 (ファシリテーターの感想等も含む)
<p>1</p> <p>Q1 1-1 や 1-2 のデータやデータの説明を聞いて、どんなことを感じましたか。自分が普段感じていることと比べてどうでしたか。自由に話し合ってみましょう。</p> <p>Q2 現在受け入れている子どもたちの背景にある多様性について、把握できていることはなんでしょう。入園前に知っていることとよいことと、入園後でもよいことを話し合ってみましょう</p>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・日本の保育者の全体の傾向についてどう思いましたか？</li><li>・この園がある都道府県全体の傾向と、この地域の傾向は同じでしょうか？</li><li>・パワーポイント8を見ながら、園にいる外国籍幼児の背景について確認してみましょう。(または、これらの要素から考えて、どのようなケースが考えられるかできるだけたくさん考えてみましょう)</li><li>・パワーポイント9の目次を見て、内容を想像できる項目はありますか？すぐに確認してみたい項目はどれですか？</li></ul>	
<p>2</p> <p>Q3 園での「当たり前」を捉え直してみよう (Ⅱ-1)。具体的な内容について、なぜそのように園では取り組んでいるのか、理由を考えてみましょう。また、その理由について、保護者にはどのように説明しているのか、振り返ってみましょう。さらに「当たり前」と捉えない保護者は、どうしてそのように思うのか、保護者の立場から考えてみましょう。</p> <p>Q4 外国人幼児等を受け入れることは、幼児教育の基本を見直すことでもあります (Ⅱ-2)。ここでは「環境を通しての教育」について、見直してみよう。言語・文化的視点も加えた、文字への興味を育む環境とはどのようなものだと考えますか？ 保育室だけではなく園全体の環境を、具体的に考えてみましょう。</p>	

- 具体的な事柄について、なぜそのようにしているのか、理由を考え、言葉で説明してみましょう。
- ・お弁当に持って来ないように保護者に伝えているものには、何がありますか？（汁もの、海苔巻きなど）
- ・それは、なぜですか？ また保護者にはどのように説明していますか？
- ・持たせたいという保護者は、なぜ、そう思うのだと思いますか？（保護者の立場から考えてみましょう）
- 具体的な環境構成を考えてみましょう。外国人幼児等を受け入れている園では、実際に環境を見直してみましょう。
- ・子どもたちの名前は、どのように表記しますか？
- ・どのような絵本を、どこに、どのように置きますか？
- ・園内の文字表記は、どのようにしますか？
- ・年齢によって文字環境は、どのように異なりますか？

### 3

- Q5 あなたにとって「言葉」とは何ですか？ 言葉の意義について、考えてみましょう。
- Q6 子どもたちの言葉をはぐくむために、日常的に心がけていることは何ですか？ 普段の保育を振り返ってみましょう。
- Q7 II-2～4までの説明を聞いて、どのようなことを感じましたか。自分が普段感じていることと比べてどうでしたか。自由に話し合ってみましょう。

- 「言葉」をどのように捉えているのか、自分の考えを自由に語ってもらい、他の人の考えを共有することで、言葉の意義を多角的に捉える機会としましょう。
- ・「私にとって「言葉」とは〇〇である」の「〇〇」に自由に言葉を入れて、あなたにとって言葉とは何かを表現してみてください。
- ・どうして、そのように思うのですか？ そう思うようになった具体的なエピソードがありますか？
- ・みなさんの意見を踏まえながら、子どもたちが言葉を獲得するとは、どういうことだと思いますか？
- 子どもたちの言葉を育むために心がけていることを振り返り、共有することで、援助の幅を広げましょう。
- ・普段、子どもたちの言葉をはぐくむために、どのようなことを心がけていますか？ 具体的に、どんな援助や言葉かけをしていますか？
- ・他の保育者の意見を聞いて、自分も取り入れてみたいと思ったこと

<p>がありますか？</p> <p>○子どもたちが言葉を獲得する意義について、研修で学んだことを整理しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3の研修を受けて、どのように感じましたか？ 普段自分が感じていることと比べて、どうでしたか？</li> <li>・明日の保育に活かすことができる内容がありましたか？ それをどのように活かしていきたいですか？</li> </ul>	
<p>4</p> <p><b>Q8</b> IV—9の専門性のトライアングルと、この基礎理論研修の各セクションの内容のどれが関連するか考えてみましょう。</p> <p><b>Q9</b> 通常の保育と複言語環境で育つ子どもの保育で、どんなことが異なるのでしょうか。共通する配慮事項にはどのようなものがあるのでしょうか。</p> <p><b>保護者や小学校との連携等、就学に向けての支援の在り方を考えましょう。</b></p> <p><b>Q10</b> 子どもたちの言葉や行動の中で、「前偏見」が表れていると思われる事例を思い出し、出し合ってみましょう。自分の子どもの時の経験でも構いません。</p>	
<p>○たくさんの専門用語、概念が出てくるので、一緒に確認してもよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子どもが、日本語を話せなくなって育児をしている状況を想像してみましょう。小学校高学年ではどんなことがおきるでしょう？中学生では？高校生では？</li> <li>・担当しているすべての幼児の言葉の育ちについて考えてみましょう。</li> </ul> <p>○言葉の育ちを把握することがなぜ大切なのか、テキストを一緒に見ながら考えてみてください。</p>	
<p><b>基礎理論研修のその先に</b></p> <p><b>Q11</b> この基礎理論研修全体で印象に残ったことを話し合ってみましょう。</p> <p><b>Q12</b> 課題1～4のトピックを見て、自分たちのクラス、園ではどの課題を先に学ぶ必要があると思うか、計画をたててみましょう。</p>	
<p>○すぐに取り組めること、園としてやれること、改善していきたいこと等を話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は</li> <li>・園全体での取り組むこと</li> <li>・その他</li> </ul> <p>○課題1～4の内容にこだわらず、園の状況に合わせて自由に出し合ってみましょう。</p> <p>○今外国人幼児が園にいない場合には、初めて受け入れをする際を想定して話し合ってみましょう。</p> <p>様々な人が出会い共に生活していく社会の担い手になっていく子どもたちを育てるという視点をもつようにするとよいでしょう。</p>	

